

3.11 から考える釜石フォーラム

「つながる釜石 ～協働、そしてその先へ」

1. 目的

東日本大震災から6年が経過するなか、国内外では続発する災害に呼応するように「災害ボランティアセンター」や「ボランティア」、「企業のCSR」などに対する社会的意識が高まっています。また、次に起こりうる大規模な災害に備えるために、被災地で培われた経験の集積や支援活動を通じて生まれた各セクターのつながりを検証し理解を深めることが求められています。

本フォーラムでは岩手県釜石市において発災から現在に至るまでの様々な活動を実際に担った方々が社会に対して“丸ごと”還元することで共助の可能性を見つけ出し、これからの活動に資することを目的に開催いたします。

2. 日時 平成29年3月3日（金）14：00～17：30

18：00～交流会

平成29年3月4日（土）09：00～12：15（終了予定）

3. 会場 スコットホール （公財）早稲田奉仕園内
東京都新宿区西早稲田 2-3-1

4. 主催 社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会

5. 共催 特定非営利活動法人 hands

6. 協賛 日本基督教団、日本ユニシス株式会社、
フィリップモリスジャパン合同会社、立正佼成会一食平和基金、

7. 協力 荒川区社会福祉協議会、株式会社クボタ、
公益財団法人日本国際交流センター、中央共同募金会、
東京ボランティア・市民活動センター、

8. 後援 復興庁、釜石市、岩手県社会福祉協議会

9. 内容

平成 29 年 3 月 3 日 (金)

①開会式典 14:00～

●会場 スコットホール (講堂)

東日本大震災発災から 6 年。緊急期支援から現在に至るまで、全国の皆様から寄せられた温かいご支援への感謝と歩み続ける釜石の進行形を全ての皆様へ発信します。

登壇者

- ・丸木 久忠 (釜石市社会福祉協議会 会長)
- ・山崎 強 氏 (釜石市 復興推進本部 生活支援室)

災害復興支援金 目録贈呈式

- ・石橋 秀雄 様 (日本基督教団 東日本大震災救援対策本部会議 本部長)

②基調講演 14:30～15:30 (60分)

●会場 スコットホール (講堂)

■テーマ “生きる”ということ “いのち”と“共生”その困難と慈しみ

私たちは周囲との関係性や様々な社会サービスを用いて暮らしています。しかし、災害はこうした社会基盤はもとより生命や財産、生きた証までも一瞬にして奪い去り大なる悲しみと共に生きることを意味を私たちに突きつけてきます。本講演では一貫した「愛」を持って困難を抱える被災地に通い続けた講師が見い出したテーマを解説頂き分かち合います。

講師 山崎 美貴子 氏 (神奈川県立保健福祉大学 顧問)

③オープニング全体会 15:30～17:30 (120分)

●会場 スコットホール (講堂)

■テーマ「3.11 から見た社協と支援者の協働」

東日本大震災の最前線で支援活動を行っている社会福祉協議会。社協はどのようにして現在の支援基盤を確立させ活動を行ったのか。コーディネーターに釜石ともかかわりの深い社会活動家湯浅誠さんを迎え「協働の創り方」を紐解きます。

- ・コーディネーター 湯浅 誠 氏 (法政大学 教授)
- ・コメンテーター 石井 布紀子 氏 (災害ボランティア活動支援プロジェクト会議)
- ・パネリスト 菊池 亮 (釜石市社会福祉協議会)
- ・パネリスト 伊瀬 聖子 氏 (NPO カリタス釜石)
- ・パネリスト 菊池 隼 (NPO hands)

④交流会 18:00～20:00 (120分)

●会場 リバティホール ●会費 5,000 円

■テーマ「広がれ、つながれ、釜石のかたち」

発災後、釜石社協と言うプラットフォームを通じて生まれた“つながり”と言うかたち。だけど、つながりのつながりは？そしてその先は？釜石に関わりを持っていただいた全ての皆様で交流会を開催することでつながりの未来形を見つけ出します。

9. 内容

平成 29 年 3 月 4 日 (土)

分科会 (※3 分科会を予定)

各分科会共通テーマ「釜石からみえた!!」

分科会 1 『社会福祉協議会』 9:00~11:00 (120分)
●会場 スコットホール (講堂) ●定員 100名
分科会テーマ「社会福祉協議会の現実と可能性」
・コーディネーター 都築 光一 氏 (東北福祉大学 教授)
・パネリスト 園崎 秀治 氏 (全国社会福祉協議会)
・パネリスト 菊池 亮 (釜石市社会福祉協議会)
・パネリスト 藤田 満幸 氏 (前荒川区社会福祉協議会 局長)

分科会 2 『企業ボランティア CSR・CSV』 9:00~11:00 (120分)
●会場 リバティホール ●定員 50名
分科会テーマ「企業における被災地支援を考える」 ～企業の社会的責任から共有価値を生み出すには～
・コーディネーター 枝見 太朗 氏 (富士福祉財団 理事長)
・パネリスト 勝又 英子 氏 (日本国際交流センター 事務局長)
・パネリスト 井上 哲 氏 (フィリップ・モリスジャパン (同) 副社長)
・パネリスト 服部 竜一 氏 ((株)コボタ CSR 企画部 サステナビリティグループ 長)
・パネリスト 内海 裕介 氏 (日本エニス (株) ファイナンス事業部 エコビジネス推進)

分科会 3 『被災地におけるサロン活動』 9:00~11:00 (120分)
●会場 222 会議室 (スコットホール 2 階) ●定員 50名
分科会テーマ「サロン連絡会が生み出した被災者支援の実態とその価値」
・コーディネーター 右京 昌久 氏 (岩手県社会福祉協議会)
・コメンテーター 宮下 俊哉 氏 (災害ボランティア活動支援プロジェクト会議)
・パネリスト 山崎 強 氏 (釜石市 復興推進本部 生活支援室)
・パネリスト 佐々木 ムツ子 氏 (ハートフル釜石)
・パネリスト 高野 桂子 氏 (NPO カリタス釜石)
・パネリスト 保科 和市 氏 (前立正佼成会社会貢献グループ 次長)
・パネリスト 高橋 和義 (釜石市社会福祉協議会)

チャリティーコンサート 11:00~11:30 (30分)
●会場 スコットホール (講堂)
バイオリニスト 山口 幸子 氏 (新日本フィルハーモニー交響楽団)
ピアニスト 西島 麻子 氏 (ピアニスト・作編曲家)

③クロージング全体会（まとめセッション） 11：30～12：10 （40分）

●会場 スコットホール（講堂） ●定員 100名

各分科会で未来への種を共有し、フォーラムの目的でもある次の大規模災害への備えとして全ての参加者と確認し合います。

- ・コーディネーター 菊池 亮 （釜石市社会福祉協議会）
- ・分科会1 都築 光一 氏（東北福祉大学 教授）
- ・分科会2 枝見 太朗 氏（富士福祉財団 理事長）
- ・分科会3 右京 昌久 氏（岩手県社会福祉協議会）

③閉会式典 12：10～12：15

●会場 スコットホール（講堂）

10. 参加員数 150名/日 2日間合計 300名
11. 事務局 釜石市社会福祉協議会、NPO法人 hands
12. 申込 申込書に必要事項を記載し下記申し込み先へお申し込み下さい。
 - ・ 申込書ダウンロードアドレス
<https://www.31lkamaishiforum.site/blank-2>
13. 申込期間 平成29年2月3日（水）～平成29年2月26日（日）迄
（※定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただく場合があります。）
14. 申込先
 - ・ FAXで申込 0193-55-4213
 - ・ Webで申込 <https://goo.gl/wX71ZE>
 - ・ 郵送で申込 〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町22-1
釜石社協生活ご安心センター
釜石フォーラム申込窓口 宛
15. 問合せ先 〒026-0031
岩手県釜石市鈴子町22-1 釜石社協生活ご安心センター内
3.11からを考える釜石フォーラム
「つながる釜石～協働、そしてその先へ」
運営事務局 担当 東梅・菊池（隼）
◆TEL:0193-22-2310 ◆FAX:0193-55-4213
◆3.11kamaishi.forum@gmail.com
◆<https://www.31lkamaishiforum.site/>